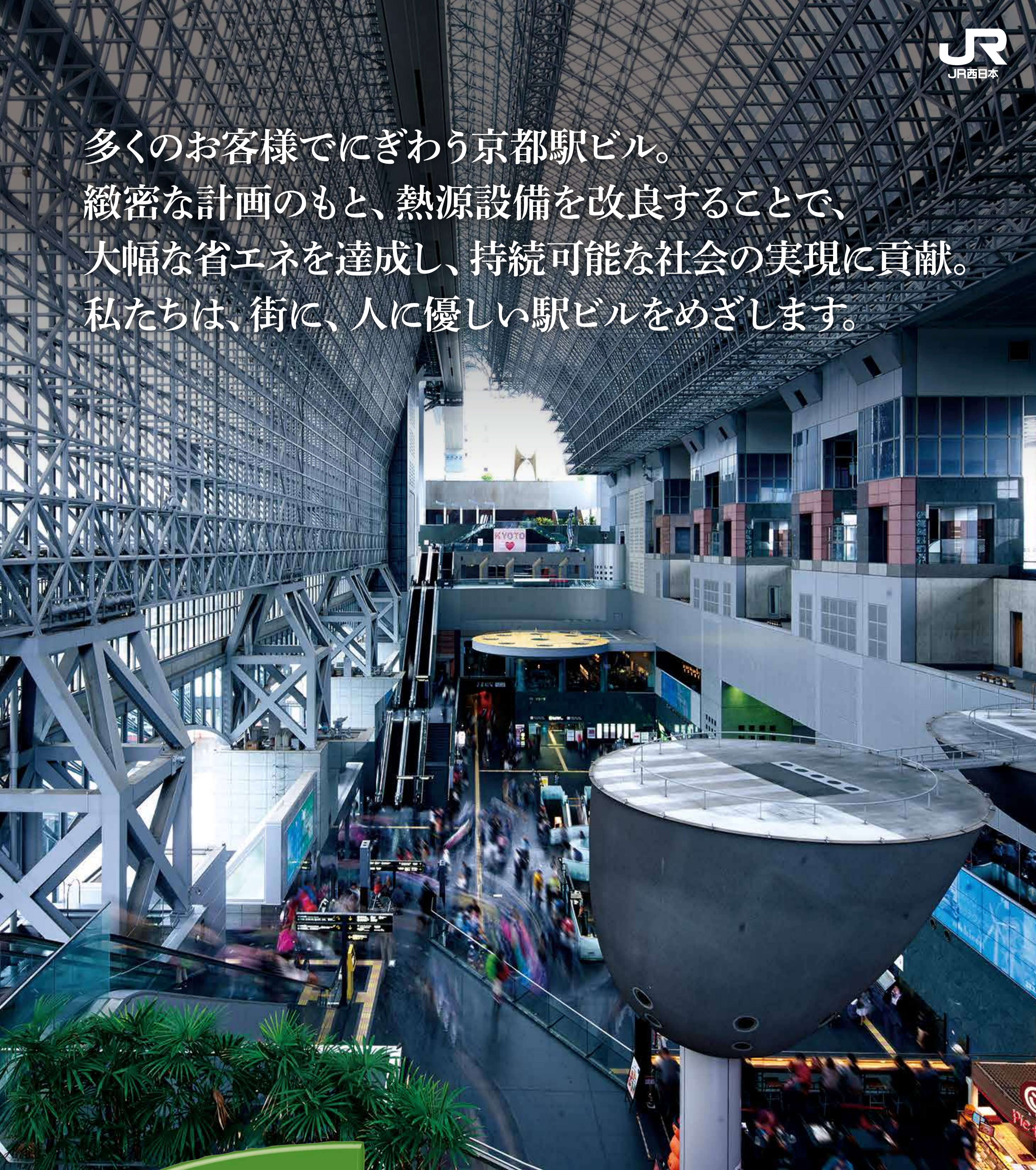


多くのお客様でにぎわう京都駅ビル。  
 緻密な計画のもと、熱源設備を改良することで、  
 大幅な省エネを達成し、持続可能な社会の実現に貢献。  
 私たちは、街に、人に優しい駅ビルをめざします。



エコと  
 走ろう!

No.12

世界中から多くのお客様が訪れる京都の玄関口「京都駅ビル」<sup>※1</sup>は、駅・ホテル・百貨店・専門店・劇場などが複合し、24時間稼働しています。環境モデル都市・京都で100年先も存在できる駅ビルをめざし、熱源設備の抜本的な改良を行うにあたり、コミショニング手法<sup>※2</sup>を導入しました。その結果、年間エネルギー消費量を30%、特に熱源設備においては60%と大幅に削減しました。私たちは、これからもお客様とともに、持続可能な社会の実現をめざして走り続けます。



※1 JR西日本グループ「京都駅ビル開発(株)」 ※2 コミショニング手法: 既設ビルの現状の運用性能を分析し、より適切な運転にするために必要な改修や調整、ならびに運転の最適化を提案し、性能検証して実現するプロセス。

(この取り組みは、平成30年度省エネ大賞(省エネ事例部門)の経済産業大臣賞を受賞しました。)

当社の環境の取り組みは [JR西日本 環境](#) [検索](#)

